

PFI(BTO方式)		〔仮称〕野々市市小学校給食センター施設整備・運営事業《野々市市(石川県)》		
人口:約5万人				
<p>■ 概要</p> <p>・新給食センターの施設整備・運営維持管理に加えて、既存の給食センターの維持管理・運営を一体的に実施。献立作成、食材調達等の業務は引き続き市が実施。アレルギー食に対応した給食の運営システムや食育の推進に寄与する施設整備を求めた。</p>				
<p>■ 事業実施の経緯</p> <p>・市では、小学校の単独校調理場の老朽化と新しい衛生管理基準への対応等のため、センター方式に移行し、新給食センターを整備するにあたり、新施設の整備と維持管理及び運営業務に加え、既存の給食センターの維持管理・運営業務を加え、一体的に事業を実施した。</p>				
<p>■ PPP/PFI手法導入のポイント</p> <p>・整備にあたり、民間の資金、経営能力等の活用を図り、長期にわたって安全でおいしい給食を提供するとともに、良好な施設の整備や事業コストの削減等と長期的な観点での学校給食の質の確保をするため、PFI手法を導入した。</p>				
《事業データ》				
施設規模	[新給食センター] 提供食数:最大3,500食/日(小学校5校分) 敷地面積:3,958㎡ 延床面積:約1,800㎡	[既存給食センター] 提供食数:最大1,750食/日(中学校2校分) 敷地面積:2,371㎡		
事業方式	PFI(BTO方式)			
事業類型	サービス購入型			
事業期間	平成24年9月～平成42年3月(約18年) (設計・建設:約2年/維持管理・運営:約16年)			
官民の役割分担	<p>【公共の業務】</p> <p>・献立作成、食材調達・検収、食数決定・調整、給食費の徴収管理、直接搬入品(主食・牛乳等)の調達・各配送校への運搬業務、食育等実施業務</p> <p>【民間事業者の業務】</p> <p>・施設整備業務(設計、建設、配膳校の配膳室等の改修、厨房機器の調達・設置、什器・備品等の調達・設置)</p> <p>・維持管理業務(保守管理、外構維持管理、清掃、警備 等)</p> <p>・運営業務(検収補助、給食調理、給食配送・回収、洗浄・残滓処理、配膳 等)</p> <p>〈業務分担のポイント〉</p> <p>・食材調達・検収は、食育や食の安全に特に係わる事項であることから、公共の責任において行う。</p>			
事業費	約33億円(税抜、落札金額)			
VFM	特定事業選定時	約5%	事業者選定時	約6.5%
事業者 ◎は代表企業 ◆は地元企業	◎(株)グリーンハウス、(株)松田平田設計、佐藤工業(株)金沢営業所、(株)日立ビルシステム 北陸支社、(株)アイホー 【協力企業】(株)和泉建設野々市営業所◆			
応募グループ	1グループ			
スケジュール	平成23年10月	実施方針公表		
	平成23年11月	特定事業の選定		
	平成23年12月	入札公告		
	平成24年6月	落札者決定		
	平成24年9月	事業契約締結		
	平成26年8月	供用開始		

**活用した制度等**

学校施設環境改善交付金

**■ PPP/PFI手法導入の効果**

- HACCPの概念に基づいたゾーニング計画による安全・安心な学校給食を実現する施設計画となっている。
- 地球環境への配慮及び省エネ・省資源、ランニングコストの低減策として、温室効果ガスの削減や、雨水利用、LED等の省エネ設備の導入等の提案がなされた。
- また、運営面において、手作り調理や学校訪問等の実施等、きめ細やかな運営や、アレルギー対応食について、事故発生を未然に防ぐため、多段階によるチェック等の工夫が取り入れられている。
- 地元の食材や生産者の紹介ができ、食育が学べる見学エリアが整備されているほか、児童・生徒に対する食育や就業体験の実施、市民への健康増進に関するイベントの開催等についても提案がなされた。

**■ 地域経済の活性化**

- 参加資格要件として、「本店、支店又は営業所の所在地が本市内にある企業を、入札参加企業又は代表企業、構成企業、協力企業のいずれかとして、1社以上参加させること」という要件を付している。
- また、落札者決定基準において、「地域社会・経済への貢献」の項目(50点/定性点700点)を設け、地産地消や地元雇用、地元企業の参画等の地域経済への貢献、地域コミュニティへの貢献等する具体的な提案を求めた。



(出所)野々市市公表資料

**■ 参考URL**

- (野々市市HP) <https://www.city.nonoichi.lg.jp/>